

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
芝崎参事	<p>【1 開会】</p> <p>皆様おはようございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第3回久喜市農業振興協議会を開会させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、農業振興課長の芝崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいまの出席委員は11名でございます。定員20名の2分の1以上が出席されておりますので、久喜市農業振興協議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立されていることをご報告申し上げます。</p> <p>久喜市では、審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、会議は原則公開としております。傍聴を希望される方がいる場合は、受け入れるものでございます。</p> <p>なお、本日の傍聴者はございません。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきたいと存じます。委員の皆様には、発言の際にマイクをお渡しさせていただきますので、マイクを使ってご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは会議に入ります前に、本日の配付資料の確認でございますが、本日は会議次第のみとなっております。</p> <p>なお、事前に送付させていただいております「第2次久喜市農業農村基本計画（案）」及び右上に資料1と記載されました「第2次久喜市農業農村基本計画（案）修正箇所一覧」は、本日もご持参いただくようお願いしたところでございますが、お持ちいただいておりますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>（発言する者なし）</p> <p>はい。ありがとうございます。</p>
芝崎参事	<p>【2 会長あいさつ】</p> <p>それでは次第に従いまして進めさせていただきたいと思えます。</p>

審 議 会 等 会 議 録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
矢野会長	<p>次第2、矢野会長からごあいさつをお願いしたいと思います。 矢野会長よろしく願いいたします。</p> <p>皆さん、こんにちは。 本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。 昨日桜が東京の方で開花宣言ということで、埼玉県の方も、もう来週になると、開花が、各地で始まるような予報が出ております。ちょっと梨屋なので梨の話なんですけども、桜が咲きますと1週間ぐらいすると梨の花も、咲きだしてくるんですね。その中でも、梨の中で彩玉という埼玉県のブランド品種があるんですが、その花が一番最初に花が咲くんですね。今日はお休みなんですけど、大沢委員さんがマツコの知らない世界っていう番組に出て、梨の話を一生懸命して、マツコさんに日本各地の梨を食べてもらったんです。そしたら彩玉が一番おいしいという評価を得られました。甘くてすごく大きな梨なんですけども。なので、1個500円、800円、1,000円という本当に少し値段も上がってきているところではありますが、そういう番組であつたりとか生産者さんが一生懸命やってるので、いろいろ付加価値もついてその値段まで上がってきたのかなと思いますし、もっと作る方が増えてきてもいいのかなと思っていますところなんです。</p> <p>すいません、話戻りまして、本協議会の方が一応本日が最終ということになっております。皆様から多くの意見をいただいて、最後にちゃんとした意見を市長のところに届けたいと思っておりますので、本日もどうぞよろしく願いいたします。</p>
芝崎参事	<p>【3 議題】</p> <p>ありがとうございました。 次に次第3、議題に入りたいと存じます。 会議の進行につきましては、久喜市農業振興協議会条例第6条の規定に基づき、協議会の会議は会長が議長となるとされておりますことから、進行は矢野会長に議長をお願いしたいと存じます。 矢野会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>

審 議 会 等 会 議 録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
矢野会長	<p>はい。それでは私の方で進行させていただきます。</p> <p>議題の第2次久喜市農業農村基本計画（案）についてでございます。</p> <p>今回、委員の皆様にご用意をしております資料については、前回の協議会での意見を踏まえて修正したものとなっております。</p> <p>修正内容について、事務局からの説明を求めます。</p>
田口課長補佐	<p>すいません。資料を配らせていただいたんですけども、今お配りした資料ですね、3ページと書いてある、こちらはですね、計画の中の3ページ部分、少し修正を加えたものを、修正版としてお渡しさせていただきました。</p> <p>それで、資料1という方は、このお配りした修正部分を一番上に付け加えたものになりますので、本日ご覧いただく時には、今日、資料1持ってきていただいて大変申し訳なかったんですけども、今日お配りした資料1の方を、内容的にはそんなに変わっていないんですけども、そちらの方を参考にさせていただければと思いますので、すいませんが、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは私、農業振興課の田口と申します。</p> <p>よろしく願いいたします。着座にて失礼させていただきます。</p> <p>説明の前に、まず初めにご報告させていただきたいと思えます。第2次久喜市農業農村基本計画につきまして、農業に関する見識を有する農業委員会の皆様にも、意見をお伺いいたしまして、1名の方から2件ほどご意見をいただきました。今回ご審議いただく計画案につきましては、その内容も踏まえて修正したものでございますので、ご報告として申し上げます。</p> <p>それではですね、第2次久喜市農業農村基本計画案につきまして、前回ご審議いただきましたご意見を踏まえ、修正いたしましたので、その内容についてご説明いたします。</p> <p>お手元でございます、第2次久喜市農業農村基本計画案と、資料1の第2次久喜市農業農村基本計画案修正箇所一覧をご覧いただければと思います。</p> <p>それでは、修正箇所一覧の1番より順次説明をさせていただきます。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>まず1番でございます。基本計画2ページなんですけれども、こちらの方が後からお配りした部分になります。先ほどお配りした資料でご確認いただければと思います。</p> <p>こちらは事務局による修正でございます、第2次久喜市農業農村基本計画と第2次久喜市総合振興計画が関連していることから、「3. 計画の位置づけ」のところに第2次久喜市総合振興計画を追記したものでございます。</p> <p>それでは、こちら今度は以前お配りした計画案に戻っていただきまして、一覧表では、2番でございます。基本計画につきましては、5ページでございます。</p> <p>こちらは、②立地⑥交通⑦地勢⑧気候の部分について、文末が「にある」、「いる」となっているが、当該箇所以外の文末はすべて「ですます調」となっているため、同様にするのが妥当ではないかとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、計画の文末を統一することが妥当と考えることから、②の2行目「ある」を「あります」。⑥の4行目と6行目、⑦の3行目と4行目、⑧2行目の「いる」という部分を「います」に修正をするものでございます。こちら計画では、少し網掛けのようになっているかと思うんですけれども、そちらが修正をさせていた部分になります。</p> <p>次に3番でございます。基本計画につきましては同じく5ページでございます。</p> <p>こちらは事務局による修正でございます、(1)概況の一番下の図でございますが、圏央道白岡菖蒲インターチェンジから西側部分が点線となっております。こちら、前計画の図を使わせていただいて、実線の図面ということで、今回修正をするものでございます。</p> <p>次に、4番でございます。基本計画につきましては、6ページでございます。</p> <p>こちらは事務局による修正でございます、②地目別土地面積につきまして、令和3年統計くきを再確認しまして、網掛けの部分、一部数値を修正させていただいたものでございます。</p> <p>次に5番でございます。基本計画につきましては、10ページでございます。</p> <p>こちらは、統計データが古く、現状とかけ離れた面積になっているため、訂正をしていただきたいとの意見をいただいたもので</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>ございます。こちらにつきましては、現時点において確認できる最新の統計データで、面積に相違があるものの、県内の栽培状況は同様であると考え、記載したところですが、いちご、梨につきましては、10年から15年前のデータであり、直近のデータが記載できないことから、こちらの10ページについては削除とするものがございます。</p> <p>次に6番でございます。基本計画につきましては11ページでございます。</p> <p>こちらは事務局による修正でございまして、「②有効的な農地利用の推進」の内容につきまして、再検討いたしまして、修正するものがございます。</p> <p>次に、7番でございます。基本計画につきましては、同じく11ページでございます。</p> <p>こちら事務局による修正でございまして、「③収益性の高い生産構造への転換」の内容につきまして、こちら再検討いたしまして、一部修正をするものがございます。</p> <p>次に8番でございます。基本計画につきましては、同じく11ページでございます。</p> <p>こちらは、「④市場ニーズをと捉えた販売戦略の構築」の中で、市場評価の高い梨やいちごがあるということを出していただきたいとの意見をいただいたものがございます。こちらにつきましては、久喜産農産物を市内外の消費者への販売促進を図るためには、本市の特産物の認知度の向上や、販売促進及び市場ニーズの生産、流通、販売まで一貫した販売戦略の構築が課題であることから、④市場ニーズをと捉えた販売戦略の構築の内容につきまして、再検討し、修正するものがございます。</p> <p>次に9番でございます。基本計画につきましては、11ページ、12ページ、20ページとなります。</p> <p>まず11ページをご覧ください。こちらは、「取組み」の表記を正しく統一して欲しいとの意見をいただいたものがございます。こちらにつきましては、表記を統一することが妥当と考えることから、まず11ページ、「①多様な担い手の確保・育成」の4行目、こちらの「取組み」のところに「り」を入れております。それから12ページ、「⑤環境保全・資源循環型農業の促進」の4行目、こちら「取組み」のところに「り」を入れさせていただきました。それから20ページの「①新規就農者の確保・育成」</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>の4行目、こちらの「取り組み」というところにも「り」を入れて、表記を統一したものでございます。</p> <p>次に10番でございます。基本計画につきましては、戻っていただいて、12ページになります。</p> <p>こちらは、「⑤環境保全・資源循環型農業の促進」の中で、「SDGs」と出てくるが、ここでは説明がなく、15ページに説明があるため、説明を入れるか、SDGsを使わない方が良いのではないかとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、SDGsについて第4章において内容の詳細についての記載があり、説明を入れると重複する内容となるため、「SDGsや」の部分削除するものでございます。冒頭の部分になります。</p> <p>次に11番でございます。基本計画につきましては同じく12ページになります。</p> <p>こちらは、久喜市農業基本条例の中では、「及び」を必ず使っているが、使っていないところがあるように見受けられるとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、久喜市農業基本条例を確認させていただきまして、「⑤環境保全・資源循環型農業の促進」の2行目、それから「⑥市民の意識の醸成」の2行目の「農業・農村」を「農業及び農村」と修正をさせていただいたものでございます。</p> <p>次に12番でございます。基本計画につきましては、15ページ、16ページでございます。</p> <p>こちらは、カタカナ語はなるべく避けて、正確で簡潔で平易な日本語を使ってもらいたいとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、計画においては、わかりやすい表記が必要と考えますが、「4. SDGs（持続可能な開発目標）の推進」については、第2次久喜市総合振興計画より抜粋しているため、そのままの表記とし、計画案のとおりとするものでございます。</p> <p>次に13番でございます。基本計画につきましては、18ページでございます。</p> <p>こちらは、担い手へ農地を集積したときに、ほ場整備をやらないうといけないというのを計画の中で具体的に示した方がいいのではないかとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、担い手へ農地集積にあわせて、ほ場整備を実施することは、将来的に営農していく上で効果的であると考えます。しか</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>しながら、農地集積に合わせて行うほ場整備の必要性については、地域ごとに状況が異なることから、人・農地プラン等において具体的に検討していくものと考えことから、計画案のとおりとするものでございます。</p> <p>次に、14番でございます。基本計画につきましては、18ページから28ページでございます。</p> <p>こちらは、10年間のロードマップやPDCAサイクルを用いた評価を実施するための数値目標が必要と考えるとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、農業振興においては、10年後の施策の結果を数値として評価することは、難しいと考えております。しかしながら、計画に基づいた施策を実施していくうえで、PDCAサイクルによる評価・検証は必要と考えます。第2次久喜市総合振興計画実施計画においては、施策の方向性に関する取り組みについて、3年間の計画や活動指標を定めていることから、これらをロードマップや数値目標とし、この施策の方向性と関連している第2次久喜市農業農村基本計画の基本的な施策の評価をしていきたいと考えていることから、計画案のとおりとするものでございます。</p> <p>次に、15番でございます。基本計画につきましては、19ページでございます。</p> <p>こちらは、放棄地の集積後の具体的な作物に関しても言及していった方がいいのではないかと意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、遊休農地解消後の作付けについては、自給率が低く、国の補助制度が活用できる農作物の作付けが望ましいと考えます。しかしながら、作付けする農作物については、耕作者の判断によるため、具体的な品目ではなく、「奨励作物等の作付け促進」と記載をしていることから、計画案のとおりとするものでございます。</p> <p>次に、16番でございます。基本計画につきましては、19ページから23ページ及び27ページでございます。</p> <p>こちらは事務局による修正でございまして、用語の説明について、※1、※2というふうに表記の方を修正するものでございます。</p> <p>次に17番でございます。基本計画につきましては、24ページでございます。</p> <p>こちらは事務局による修正でございまして、「(5)地産地</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>消・地産外商の推進」の一行目「久喜市産農産物」というのを「久喜産農産物」に修正をするものでございます。こちらは、下の①、②で同じような表現が出てくるんですけども、こちらの方が「久喜産農産物」となっておりますので、同じように修正をさせていただいたものでございます。</p> <p>次に18番でございます。基本計画につきましては、25ページでございます。</p> <p>こちらは「④農業振興拠点（道の駅）の整備」の中で、2行目の「を」が抜けているのではとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、ご指摘のとおり誤りのため、修正するものでございます。</p> <p>次に、19番でございます。基本計画につきましては、27ページでございます。</p> <p>こちらは「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減活動の促進等に関する法律」において、現時点では「エコ・ファーマー」に代わる制度は示されていないため、用語の記述を削除した方がよいとの意見をいただいたものでございます。こちらにつきましては、「エコ・ファーマー認定制度」については、新しい法律に基づく新たな認定制度に移行する予定であったことから、記載をしたところでございますが、現段階で「エコ・ファーマー」に代わる制度が確定していないため、削除するものでございます。</p> <p>以上が、第2次久喜市農業農村基本計画案の修正内容に関する説明となります。以上でございます。</p>
矢野会長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局より説明のありました第2次久喜市農業農村基本計画案の修正内容について、委員の皆様からご意見がございましたらお願いいたします</p>
鈴木委員	<p>この案の審議の進め方ってどんな風になるんですか。</p> <p>今までは、前は、この案について質問を求めた後、質問があつてそれから、今日はこの修正案の修正について、また質問がありますかということですよ。委員の皆さんからの意見とか、あれがこの計画で足りないとかというような意見はいつ出るので</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
田口課長補佐	<p>しょうか。そういうことは、やらないのでしょうか。審議の進め方はどのように考えているのか。</p> <p>今回基本計画ということで、案ということで示させていただいております。基本的には、こちらの計画の方でご承認をいただけるかどうかというところをいろんなご意見をいただいて最終的に決定をさせていただければと思っております。</p> <p>今回は、前回の意見でいろいろ出たものを踏まえて、修正をさせていただいたり、事務局の考え方を示させていただきましたので、こちらの方で、その件に関してのいろいろご質問等があればというところで、今伺いをさせていただいております。</p>
鈴木委員	<p>第2次久喜市農業農村基本計画について、これがいいかどうかってことが、結論なんでしょうけれども。それについて、この前、若干意見が出ましたけども、質問はどうですかっていう形できて、その中で意見が出たっていうふうに私は、受け止めているのですが、この案について、意見を求めた方がいいのではないかなと思うんです。</p> <p>いろんな考え方がありますが、世界の情勢が変わってますから、今、食料の安全保障なんて言葉が出てますけれども。いざ有事の場合は日本の国が一番最初に餓死する人が出るんじゃないかという話もありますし。今までお米やその他に対しても経済合理性を優先、早い話が、安ければいい。ところが、世界の情勢見ますと、安ければいいではなくて、物があってもお金があっても買えないっていう状態が、或いは目の前にあらわれるのかなということも前提にして、久喜市の農業の基本計画をもうちょっと、食料の安全保障みたいなところを書き加えた方がいいのかなというのが、まず第1。</p> <p>それと優良農地の確保という言葉があるんですけど、3年ぐらい前ですかね、北中曽根地区41ヘクタールが工業団地に変わりました。耕地整理してある優良な農地だったんですよ。農業振興のためには、どうして確保できなかったのかなとも思いますし、また工業団地を誘致する方がいいんだっていう考えももちろんありますけど。優良農地の確保と言いながら工業団地を誘致するっていうと、私の頭の中では、両方がけんかしちゃうんですよ。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
田口課長補佐	<p>だから、ここに優良農地の確保というのであれば、もっと具体的に確保するような方向をつけたほうがいいと思いますし、工業団地にするんだという地権者の方、地域の方、市民の皆さんがどう思っているかわかりませんが、その辺の段階を、この場合は、工業団地にしましょうとかってというのがないと、農業者一人ひとりにすれば、農地がなくなれば農業ができなくなるということになりますから、職業を変えるってことになるわけで。とても後継者を確保するって言葉ではあるけども、なかなか、計画にはあるけど、現実とかけ離れているのかなという気がします。</p> <p>それと農地を集約化というのは、それで効率的な農業ができることについては、そうだと思うんですけど。ある学者に言わせますと、お米1俵60キロが約1万2,000円の原価がかかるという計算ですよ、ある学者はね。現在、1俵60キロが9,000円ぐらいなんですか。昨年、一昨年は8,000円ぐらいですね。そうすると農地を集約して大規模にやればやるほどそういった場合は、赤字幅が大きくなっちゃうんですね。ただ、外国では自給率は云々ってなると、基準単価を設けてそれより下がった場合は、国が保障するようなことになっていますから、食料の確保という意味でね。日本の場合は、経済合理式で、安ければいいって。農家が安くても何でもいいと、なかなか後継者が育たなくなっちゃう。だから、そういったこともやはり所得の確保みたいなのを基本方針の中に、入れていった方がいいんじゃないかなと思うんです。いくつか申し上げました。</p> <p>もう一つ、どうしてもカタカナ語のことなんです。パートナーシップっていう言葉を使っているんですよ。久喜市でパートナーシップ制度ってやっております。男性同性愛者、女性同性愛者が結婚した男女と同格なんだっていう証明書を発行しています。ここでパートナーシップっていう同じ行政の中で使われると、これどういう意味に使うんだかわかんないんですけど、役所の中で整理した方がいいんじゃないかと思うんです。片方では、同性婚を認めるような話。同じ役所で同じ言葉を使う意味が全然違うとなると、ちょっと困るんじゃないかなといくつか申し上げました。</p> <p>いろいろご意見の方いただきました。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>こちら久喜市の計画というところで、基本的な部分で施策に対する考え方というものを表記させていただいております。</p> <p>計画の位置付けとしましては、当然国の方ですね、今委員さんおっしゃられたような食料自給率的な問題ですね、国の方の食料農業農村基本計画とか、埼玉県の農林水産業振興基本計画、そういったものと関連する形で作っておりますことから、もちろんこの計画だけで、すべてがというところではないんですけども、その辺を踏まえて、久喜市での計画というところでは考えておりますので、この中に全部盛り込むというのは、なかなか難しいところではあるんですけども、そういう国の政策ですとか、県の政策というのも、連携して取り組んでいくというところでの計画を作っているところでございます。</p> <p>あと、優良農地等の関係なんですけれども、そちらにつきましても、この計画でそこまで個別のというところではなくて、農地を守るというところにつきましましては、委員さんもお存知かと思うんですけど、農業振興地域の整備に関する法律、あと、農地法とかその他もございまして、そういったものを遵守しながら、優良農地を守っていきますという考え方をこちらの計画に書かせていただいております。その辺の個別的なところにつきましましては、ここでは言及することはしないというところでは考えております。これとは別に久喜市農業振興地域整備計画、そういったものもございまして、いわゆる除外とか言われているもので、そういったものと連携しながら、取り組んでいくものかと思っておりますので、そういったものと連携して取り組んでいければと思います。</p> <p>あと、カタカナ語ということで、パートナーシップを例として挙げていただいたのですが、こちらの方が例えば15ページでもパートナーシップということを含弧書きで書いてあるんですけども。その前にこちらの方は「多様な主体の協働（パートナーシップ）」ということで、表記があります。総合振興計画から抜粋したというところもあるんですけども、例えばこういうものにつきましましては括弧としてパートナーシップと書いてあるというところ、説明が書いてありますので、この辺はこのままで、よろしいのではないかと考えてございまして、先ほど申し上げましたけれども、総合振興計画の方から抜粋をさせていただいたところになりますので、こちらはこのままの表記ということで、ご了承いただければと思います。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>青山委員</p>	<p>青山です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>資料送っていただいてから読んでみると、1ページで平成25年という表現に西暦も加えていただいた方が、読んでいくときにとてもわかりやすく、何年経過したかなど。例えば「計画の目的」の7行目、これは平成から令和に変わったことで、これが、2022年だと思うのですが、こういう記述があった方が読み進めるのにとてもわかりやすいかなと感じました。それと2番の令和5年から14年までというのは同じ令和でわかりやすいんですけど、表現が変わるときは、西暦も入れていただいた方がいいと思います。</p> <p>ちょっと今更ですが、この協議会に参加させていただいて、農業に関して本を読んだりしているうちに、国連が「家族農業の10年」が5年を迎えますっていうふうに新聞に出ていました。家族農業っていうのは、家族労働力を主体として営まれる比較的規模の小さな農林漁業のことですとあります。これ私全然わからなくて、調べますと家族農業が世界を変えるだとか、それから、「13歳の食と農 家族農業が世界を変える」とか、こういう2冊を見つけました。これは愛媛の教授が、女性なんですけど、農業経済学を専門にされている方が書かれたものです。で、久喜市の計画作成にあたってというのを読んで、この「家族農業の10年」が制定されたのが、2019年。ということは、最初の平成25年、いわゆる2013年の10月のもっと後なんです。それなのに、取り上げられてないということは、どうなんでしょう。でも、職員の方は専門の方でいらっしゃるんで、おわかりになっていて、それでも、受け入れられなくてこんなふうになっているのかなっていう思いもありますけれども。</p> <p>実は、SDGsは、2015年に制定されて、それから15年の計画、2030年で目標達成するためのもので計画されています。で、国連が、2030年までに、SDGsを達成するための行動を各国に呼びかけて、そしてそのあと、家族農業の10年ということで、これは、家族農業を主体として、持続可能な食と農の営みを促すっていうことで、SDGsを実現できると唱えているということがわかりました。家族農業ってどういうことっていうふうになんて調べて調べますと、個人で、1世帯の家族で農業をやっているっていうのが世界的に見て、96.4%。今まで私たちどちらかっていうと、</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>企業的にやった方が、生活が潤って、農家さんの安定した利益が得られるんじゃないかなって、ずっと知らなくて思っていたんですけど、この企業農業っていうのが3.6%だそうです。農業経営体っていうのが、この個人と企業と分かれてはいるんですが、やっぱり長い目で見ても、それからこの環境のことにしても、やっぱり個人的な農業、個人経営の農業、家族農業が必要なんだっていうことを、国連で訴えているようなんです。家族農業が世界の農場の9割を占め、農地の7割から8割を使って、食糧の8割を生産しているということなんですね。つまり、家族農業をなくしては、持続的な開発目標のSDGsに挙げられるいろんなことの、この資料の中のSDGsの目標の1と3と、ここに2もありますけど、それから13、14、15、そして12、これが達成されるようなんです。17のうちのもう7つほどは、この家族農業をすることによって達成されるっていうことで、これは見直さなきゃいけないっていうことで、2020年の江藤拓農林水産大臣は、今後は中小規模の家族農業を支援していくというふうに明言していらして、今まで経営規模を拡大して機械化して省力化などの政策を進めていましたが、これは考え直さなきゃいけないんだっていうことで、日本もその方向に来てるはずなんです。ですが、何か久喜市の計画目標を拝見しますと、今鈴木さんがおっしゃったように、これが、考えられてないのかなという不安な気持ちに実はかられております。</p> <p>先ほどの優良農地の件。前回私は優良農地って、ちょっとおかしいかなと思ってましたら、この家族農業を進めることによって、今、休耕地になってるところ、ここは家族農業でやりますから、どんどん減っては来てるかもしれないですけど、それが、自治体とか、将来的には国がきちんとサポートして、農家さんの収入を守るっていうことが大事と思っています。で、農家さんの担い手の不足っていうのを、自分も経験して、それができるかなと思ったのは、私たちサラリーマンは、定年を機会に、自分の健康状態をかなり意識するようになってるかなと思うんですね、食べ物、それから体力の低下、それから地域にいかに関与できるかっていうのをちょっと考える時期があって、それを経て、だんだんこう年齢を重ねてきていると思うんですけど。特に都心で仕事をしてる人たちの定年した方たちっていうのは、自然の多いところに移り住んだり、その後の生活をしたっていうふう思う</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
	<p>人が増えてるような、自分の周りの方を見てもそう思いますので、そういう時期に、農業を学びながら、農家さんを支援するような担い手として、帰ってくるっていうようなそんなことが、予定されていけば、少しは担い手が増えるのかなっていう思いがあります。</p> <p>それから、やっぱり若い方たちが農業ってすばらしいんだっていう、自分たちの食べ物を安全安心に作ってくれて、あと気候変動もあるけれども、安定して作るっていうその技術っていうのは、農業やってないと、例えばお米づくりっていうのは、片手間にはできないし、もう本当ににわかにはできない。家庭菜園はできてもお米っていうのは、水の管理とか、いろいろなわからないこといっぱいありますけど、そういうのは継承されなければできないと思うんですね。田んぼの水も枯れ上がってしまってから、なかなかそこに植えても育たないとかそういうのもあるかと思しますので、今ある田んぼを後世が、例えば使うときに使えるような状態に常にしていくとか、それから、畑なんかにするには、虫や植物が育ちますから、自然関係に大変いい状態だと思いますけど、先ほどの工業団地にしてしまうと、それを今度工業団地が駄目になったからそれを農業にしようって言うてもできないと思うんですね。だからそういうのを市で、あるいは自治体いろんな人たちの支援でもって継続して守っていかなくちゃいけない時期になってるんじゃないかなと思ってます。</p> <p>あとは、今度私ども消費者が地産地消していけるように、買って、いただいて、それで、地元のを県外の人たちにも勧められるぐらいのものではなければいけないと思うんですけど、たまたまこの間、久喜産のお米が2種類あるっていうことを教えていただいて、気をつけてスーパーとか見るようにしてるんですが、残念なのは、10キロ入りのお米はあっても、例えば3キロぐらいの少量で買って、それを回転させて食べられるような量っていうのが見つからなかったんですね。</p> <p>それと地元の野菜を買おうとしたら、ある人いわく、北海道から来るものの方が安いからそっちを買っちゃうっていうんですよ。でもなんでここで、地元のは輸送費がかかってないのに、高いんだらうっていう疑問がありまして、それは市の補助でもって、大事に使って育てている野菜なんだから、外から来る大量生産のものと同じレベルの状態の販売できるようにして、その</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>田口課長補佐</p>	<p>売り上げが農家さんに還元できるような状態にできたら、地産地消もうまく回るのではないかなと思いました。</p> <p>そして、たまたまいちごが、埼玉県産のものであって、県知事が推奨してますというシールが貼ってました。そこに金額安くするのではなくて、これを買うとポイントが100ポイントプラスされますよってということで、それが100円安くなるって感覚なんです、ポイント1点が1円ですから。そうするとちょっと安いかなと買う方もいらっしゃると思うんですけど。実は、主食は割としっかりここで買っておかないと明日の分がなくなるっていうものなんですけど、いちごとか果物類は、嗜好品の部類に入りますので、ちょっと何かお祝い事があったら買いましょうかと思えますけど、日常的に常におくものではないので、どうしても売り上げには、すぐは響かないように思います。そういう高級なものは、それを必要としているホテルとかそういうところに販路を広げていくっていうのも一つの方法ではないでしょうかと思いました。</p> <p>あと、将来的に子供たちが農家になることを夢としているっていう方向に持っていけるように、例えば昔は行われたと聞いていますが、小学校で田んぼに入って、田植えの体験をすとか、それからいろんな農家さんの本当に誇りを持って、農家になるっていうことは、これだけ自然に対しても、いろんな情報がわかるし、それからその情報がなければ上手く作物は作れないっていうことを伝えられるような方たちが、学校の教育現場に入って、それを示して、子供たちが虫とか植物を通しながら、やっぱり私たちが安全に食べるためには、この職業って、とても大事なんだな、将来的にはこういう職業に就きたいという憧れの職業になるようにもっていきたいなと思っています。</p> <p>このSDGsに関わっていて、「家族農業の10年」ということを、もう5年過ぎちゃって、あと5年なんですけれども、久喜市はどのような方向にもっていったかのかなっていうのが、疑問に思っています。</p> <p>ちょっと長くなって申し訳ありません。よろしく願いいたします。</p> <p>家族農業ということなんですけれども、計画では、担い手の確</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>青山委員</p>	<p>保育成というところで、当然、農業の担い手というのは、現状として不足しているというのが、共通の課題としてあるところがございます。この中では、新規就農者ですとか、農家後継者、それから農業法人とか企業、多様な担い手を育成するということで、当然その農家後継者が家族農業とか、そういったものも含まれてくるということは、当然認識しています。</p> <p>その中でも、市役所の方にもいろいろ新規就農の相談があったりするんですけども、農家の後継者の方につきましては、土地があったりとか、機械があったりとか、土台が少しある状況でございますので、そういった面では少し就農しやすいかなというところはございますので、そういったところは、農業を選択しやすい、していただきやすいという環境はあるかと思えます。全く農外から来られる方は、土地もなければ機械もないし、若い方については、それを用意するお金もなかなか用意が難しいというところもありますので、そういったところに重点的に同じ担い手さんでも、重点的に施策が行われるという点は、あるかと思えますけれども、多様な担い手というところに関しては、そういう農外から来られる方、農家後継者の方、それから数パーセントの企業。企業というのは、自分たちで農業をしていただくということもありますけれども、例えばそこで働いて、農業に携わるという可能性も企業としては、あるかなというところもございまして、そういったものを多様な担い手というところで、確保育成というところで計画ではしておりますので、市の方は担い手としてはその農家後継者も含めて、ということで考えています。</p> <p>今申し上げた、「家族農業の10年」というのが、もう5年過ぎてしまっていますので、そういうことも、市の施策の中には入れていただいて、国連でそういう方向にあるんだっていうことを、私ども審議する側も、知っておかなければいけないのではないかなという思いがあります。しかもですね、家族農業を重視するのは、化学肥料とか、農薬、それから化石燃料への依存度が、家族農業って低いんですね。自分たちも食べて健康でいなきゃいけないから、大量に作るよりも大事に作るということがあって、環境にやさしい農業を営んでるっていうのがあって、農村地域の活性化にも貢献しているということで、高く評価されていると言われ</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
田口課長補佐	<p>ています。この家族農業の農業ってはいいますが、これは、漁業、林業、畜産業も入るといことなんですね。ですから、その中でやっぱり私ども必要なものが、地元で自給して、それを消費できるようにということで、今までの規模拡大によつての機械化とか、省力化などを政策的に進めてきた、それが戦後の農業、近代化政策のことだったらしいんですけども。これを、もうそういう時代ではないんだから、農家さん家族農家さんを大事にしていかなきゃいけないということをもっと前面に、それはお金のかかることでしょうか、予算を食とか農とかそういうことにもっとかけるような方向にいつて欲しいと思っています。</p> <p>今一番大事なのは何でしょうか、食べ物がなくなってしまったら、いくら知的に優れた人がいたとしても生きていけないと思うんですね。食の安全安心っていうのが、こういう戦争だとか、新型コロナとか、そういうことで、輸入が、自給自足が求められている時代に入っていると思います。それから農家さんは大事に安全なものを作っていたら、私たちはいただいて、コミュニティ、繋がりを持って、地産地消していけたらいいなと思っていますので、市の方、よろしく願いいたします。</p> <p>予算の方はもう決まっちゃって、これ以上増やすとかできないのであれば、今までの予算これぐらいでこれができて、これではこれができなかったっていうのであれば、これができるようにするためにはこれだけ必要なんですよっていうことを私どもが、せつかくこの審議員に選ばれて、お話し合ってるのですから、まず、農家さんを守るための予算確保をしていきたいと思ます。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。そうですね。家族経営問わず、担い手の方への支援というのは当然大事になってくると思いますので、市としても当然重点的にやっていくところかなとは考えています。</p> <p>予算もですね、市の予算限られておりますけれども、農業関係に関しては、市だけに限らず、県、国、いろんな補助金等ございますので、市の方で不足して、県や国の補助金を使える分につきましては、そういったところも連携しながら、支援ができるように取り組んでおりますので、それは引き続き続けていきたいと考</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
矢野会長	<p>えております。</p> <p>私も昨年の6月まで農業委員をやっていたんですけども、今日お休みの高橋委員さんは元々都内のコンサルの会社の社員さんだったんですね。久喜に来て、農業をしたいということで、ちょうど鷺宮で農業をやりたいということで、農地を探したり、機械を貸したりして、新規就農の方には、農業委員も力を入れて支援しているところですので、何かあれば農業委員の方にも言っていただければと思います。</p> <p>あと、スーパーで買われる際に久喜産の物があると思うんですが、販売するときに手数料が取られてしまうんですね。なので、自分の考えなんですけど、その分を販売するときに金額に乗っけていかないと。一番旬な時期に採って、一番おいしいものを出せるんですけど、その分20%から25%から手数料取られてしまうので、農家も考えながら値段は、売れた方が確かにいいんですけど、考えながら出しているところです。</p>
青山委員	<p>私は、やっぱり地元のもの新鮮だから、その新鮮さが高さだっと思ってはいるんですけど。なんでコストかかってきているのに、北海道産が安くてっていう、周りのものが言うものですか、それをそうですねってコストの部分だけ、逆に市でもって、補助したらどうなんだろうって。そしたら、10円とか20円とかのその値段でも安いものの方に目が行くのが、やっぱり多いですよ。だから細かいことかもしれないですけど、補助していただければなあ。その辺の予算をどうにか、市で工面できたら、それが一番早いんじゃないかなって思うんですよ。よろしくをお願いします。</p>
矢野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>(発言する者なし)</p>
矢野会長	<p>以上ないようでしたら、委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございます。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
田口課長補佐	<p>ございました。</p> <p>本日いただきましたご意見につきましては、再度修正をさせていただきます修正案をお示ししていきたいと考えております。</p> <p>なお、修正案は、郵送で委員の皆様にご配布させていただき、修正案にて本協議会から市長に対し、答申をしたいと考えておりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>先ほどの修正案なんですけれども、青山委員さんがおっしゃっていただいた西暦の方を入れさせていただいて、それで修正案とさせていただきますと考えております。</p> <p>修正したもので、今回の第2次久喜市農業農村基本計画の策定を進めていきたいと考えております。</p>
矢野会長	<p>今の修正を入れてということで、進めさせていただきます。</p> <p>本日の修正案は、皆様の自宅に郵送させていただきます。</p> <p>事務局の方から追加で説明をさせていただきます。</p>
田口課長補佐	<p>答申の関係なんですけれども、市長から農業振興協議会に諮問をさせていただきましたこちらの計画につきましては、今回のいろいろなご意見をもって、答申案とさせていただきます。後日、答申の方法につきましては、会長と副会長に代表してご出席をいただきまして、市長に答申案として、代えさせていただければということで考えております。</p>
矢野会長	<p>ただいま事務局より答申についての説明をいただきましたが、私と副会長により、答申を行うということで、委員の皆様、よろしいでしょうか。</p>
青山委員	<p>伝え忘れておまして、19ページにあります、放棄地の具体的な作物に関してなんです。今、健康志向が高くなっているのもあって、雑穀を植えるのはどうでしょうかと思ったんです。私、雑穀って、お米より簡単にできて、それでお米ができない時代に雑穀をたくさん作っていて、それは栄養価が高くて、収量が多いっていうふうに認識していますので、よくわからないんです。</p>

審議会等会議録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
田口課長補佐	<p>けど、今、健康志向になって、そういう時代になってしまいました。それは消費エネルギーが少ないからっていいですけど。そういう人たちが今、黒米とか雑穀を混ぜながら、食事の中に取り入れて、健康体を維持しようという動きが随分前からあります。だからそういうものを作るっていうのと、あと先ほどお米は、もみの状態で10年保存ができるっていうのを讀んだことがあるんですけども。もちろん米は大事につくっていくんですが、それを利用する仕方として、パン食が多いので、米粉パンを作るとか、それから麦なども年に2回、二期作ができるって聞いたことがありますので、そういうのを作っていくっていうのも一つの方法ではないかなと思って考えましたので、ちょっと付け加えさせていただきました。</p> <p>奨励作物につきましては、先ほどもお話をしたのですが、国の方からいろいろ補助が出る作物ですとか、それから例えばレンゲなんかを植えて堆肥にしたりとかって、いろんな土地柄に合わせたというか、皆さんそれぞれお米とプラスで出来るものと考えて、やっていただくものかとは考えておりますので、一つの意見として委員の皆さんにも、発表していただいたかと思うんですけども、そういう奨励作物ということで、皆さんそれぞれやっていただくものを、当然作付けをして、農地を使っていただくということを考えていければとおります。</p>
矢野会長	<p>【4 その他】</p> <p>他に質問ございませんでしょうか。 それでは、次第の4、その他に進みたいと思います。 事務局から連絡事項はございますでしょうか。</p>
田口課長補佐	<p>ご審議ありがとうございました。 令和5年度の農業振興協議会についてでございます。 こちらの会議につきましては、年間3回程度の会議を予定しております。会議の内容につきましては、各施策の状況報告等になります。日程等につきましては、まだ詳細の方は決まっておりませんので、会議の日程等が決まりましたら、通知をさせていただきますので、ご出席の方よろしくお願ひしたいと思</p>

審 議 会 等 会 議 録

第3回久喜市農業振興協議会

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
矢野会長	<p>ます。</p> <p>以上をもちまして本日の議題がすべて終了いたしました。 これをもちまして議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
芝崎参事	<p>【5 閉会】</p> <p>矢野会長ありがとうございました。 続きまして次第の5、閉会でございます。 閉会にあたりまして、金子副会長から閉会のごあいさつをお願いいたします。</p>
金子副会長	<p>皆様には長時間にわたりまして、本日の議題であります第2次久喜市農業農村基本計画につきまして、審議いただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>3月に入りまして、桜の便りも聞こえております。これから農作業も非常に忙しくなっております。同時に農機具の事故が非常に多くなっております。皆様方には、事故等に十分ご留意いただきまして、農作業に、またそれぞれの仕事に邁進いただきますよう祈念申し上げまして、本日の会議閉会とさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
芝崎参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第3回久喜市農業振興協議会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様本日は長時間にわたりお疲れ様でした。気を付けてお帰りください。ありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。</p> <p>令和5年4月7日</p> <p style="text-align: center;">矢野 学</p>	